

第36回県下少年新人柔道大会（全国大会県予選）
（北哲郎旗争奪戦）
実 施 要 項

- 1 主 催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 期 日 平成31年2月17日（日）
 - ※ 計量 9時00分
 - ※ 審判・監督会議 9時30分
 - ※ 開会式 10時00分
- 3 会 場 鹿児島アリーナ武道場
- 4 参加資格
 - (1) 選手は、出場の意思が明確であり、保護者の承諾を得ていること。
 - (2) 選手は、小学3年生以上で、健康かつ柔道の経験が1年以上であること。
 - (3) 選手は、平成30年度全日本柔道連盟に競技者登録をし、引率する監督は、指導者登録をしていること。
 - (4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に参加しており、健康であること。
- 5 チーム編成
 - (1) チームは、原則として少年団単位とし、監督1名、選手5名、補欠2名とする。
 - (2) チームの選手の配列は、①低学年から高学年の順とする。②同学年内は、体重の軽い者から順に配列する。
 - (3) 先鋒および次鋒は、3・4年生とし、中堅・副将および大将は、4・5年生とする。ただし、下学年の児童が、上学年の児童の位置で出場できる。
 - (4) 選手の配列は、試合ごとに変更できない。選手と補欠の入れ替えは、認めるが、5の(2)に基づいて配列する。
 - (5) 選手4名以下の場合は、後詰めとする。
 - (6) 一度退いた者は、出場できない。
- 6 試合方法
 - (1) 試合はリンク・トーナメント方式とし、予選リンクで2勝したチームが、決勝トーナメントに進出する。リンク戦・トーナメント戦における勝ちチームの決定は、次の順による。
 - ア 勝ち点による。
 - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
 - ウ 内容も同等のときは、代表戦で勝敗を決する。※ 代表戦については7競技規則(3)によって行う。
 - (2) 第3位決定戦は、行わない。
- 7 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定（新规定2018）及び国内における少年大会特別規定による。
 - (2) 試合時間は、3分間とする。
 - (3) 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」又は「指導2差」とする。代表戦は、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、ゴールデンスコアで決する。ただし、本規則に定められていない事態が生じた場合は、出場者の中から抽選で選ぶ。
 - (4) 逆背負投は禁止とし、かけた場合は「反則負け」とする。
- 8 組み合わせ 主催者で決定する。
- 9 表 彰 第1位から第3位までを表彰する。
- 10 参加申込み
平成31年2月4日（月）必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。
- 11 参 加 料 3,500円・（大会当日、受付で納入する）
- 12 そ の 他
 - (1) 脳震盪対応について
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
 - (2) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
 - (3) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
 - (4) 選手は、所定のゼッケンをしっかり縫いつけること。
 - (5) 本大会の1位チームは、平成31年5月4日（金）・5日（土）に講道館で開催される「第39回全国少年柔道大会」に本県代表としての出場権を得る。
 - (6) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。